

News Release

平成 30 年 4 月 27 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 柳 正憲

神戸電鉄（株）に対し、 「DBJ BCM格付」および「地域元気プログラム」に基づき 地域金融機関によるシンジケート・ローンを組成

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、神戸電鉄株式会社（本社：神戸市兵庫区、代表取締役社長：寺田信彦、以下「当社」という。）に対し、「DBJ BCM 格付」および「地域元気プログラム」に基づき、地域金融機関によるシンジケート・ローンを組成しました。

「DBJ BCM 格付」融資は、DBJ が開発した独自の評価システムにより、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「BCM 格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。また、「地域元気プログラム」は、地域ごとの強みや潜在力を活かした成長を後押しする DBJ 独自の取り組みです。地域の課題解決に取り組みつつ、生産性の向上等を通じて自身の競争力強化に繋げている企業を、情報面・資金面からサポートしています。

当社は、神戸都心部と有馬温泉、神戸市北区・西区、三田・三木・小野市を結ぶ鉄道事業を中心に、不動産事業、食品スーパー業、コンビニ業を沿線で展開しており、介護事業、保育事業等、地域社会のニーズに対応した事業も積極的に手掛け、地域住民にとって重要なインフラとしての役割を担うとともに、沿線活性化を通じた地域の発展に取り組んでいます。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 社長をトップとする輸送安全対策会議を毎月開催するとともに、グループ会社を含めた合同訓練を定期的実施することで、安全対策や防災対策の実効性を高めている点
- (2) 異例時の対策本部機能の代替性を確保するほか、重要システムである PTC（列車運行システム）を分散配備かつ相互バップアップを行うことで、冗長性を確保している点
- (3) 列車運転休止時の振替バス輸送に関する有事協定を締結し、合同訓練などを実施することで、輸送サービスの継続に努めている点

その結果、当社は「防災及び事業継続への取り組みが十分」という格付を取得しました。

また、本件は、当社の鉄道施設整備等の事業資金を資金用途とし、DBJ および地域金融機関 10 行によりシンジケート・ローンを組成したものであり、競争力向上に向けた当社の取り組みを、金融面から支援するものです。

News Release

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、有事における事業継続の推進や地域の成長に資するお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

【シンジケート・ローンの概要】

アレンジャー：DBJ

エージェント：DBJ

金額：20億円

【お問い合わせ先】

関西支店 企画調査課 電話番号 06-4706-6455